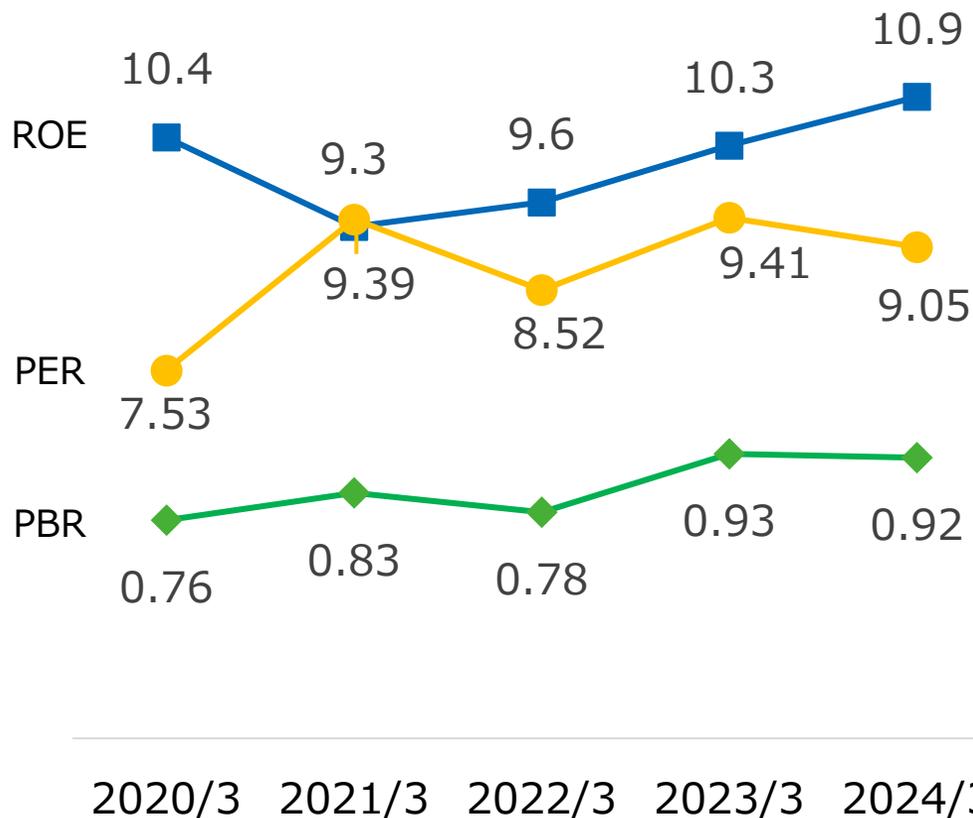


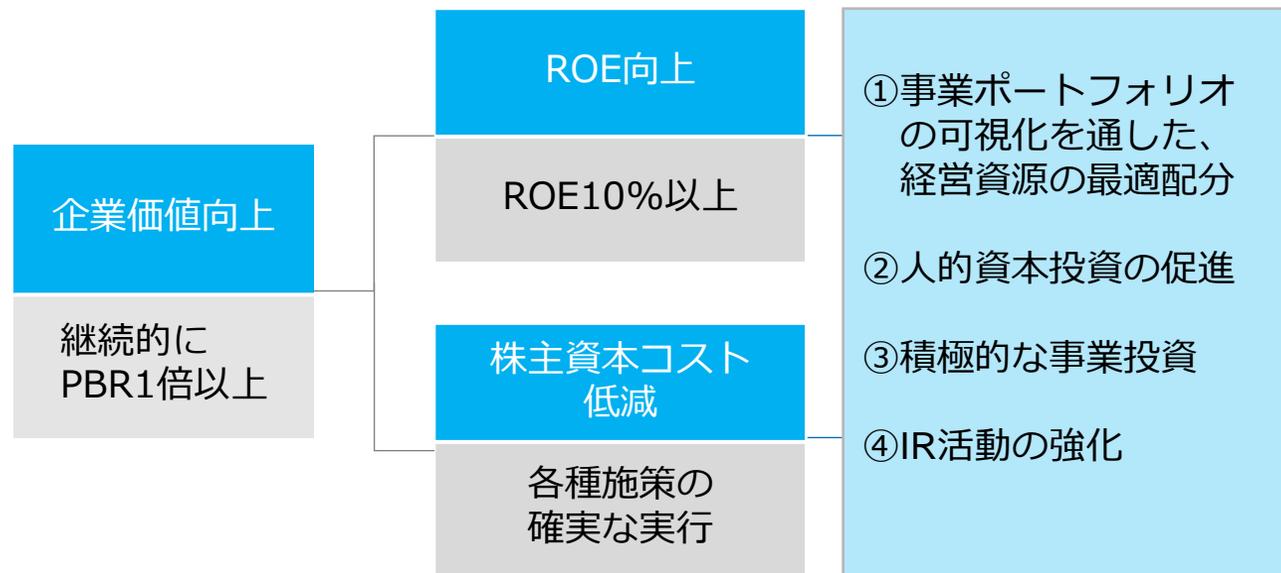


**資本コストや株価を意識した  
経営の実現に向けた対応について**

## ROE・PER・PBR 過去5年の推移



## 企業価値向上に向けた取り組み



## 当社の株主資本コストの前提

$$\begin{aligned}
 & \boxed{\text{リスクフリーレート}} + \boxed{\beta} \times \boxed{\text{マーケットリスクプレミアム}} \\
 & \quad 0.8\% \text{程度} \quad \quad \quad 0.7 \sim 0.8 \quad \quad \quad 9.0 \sim 10.0\% \\
 & = \boxed{\text{株主資本コスト (参考値)}} \\
 & \quad \quad \quad 7 \sim 9\%
 \end{aligned}$$

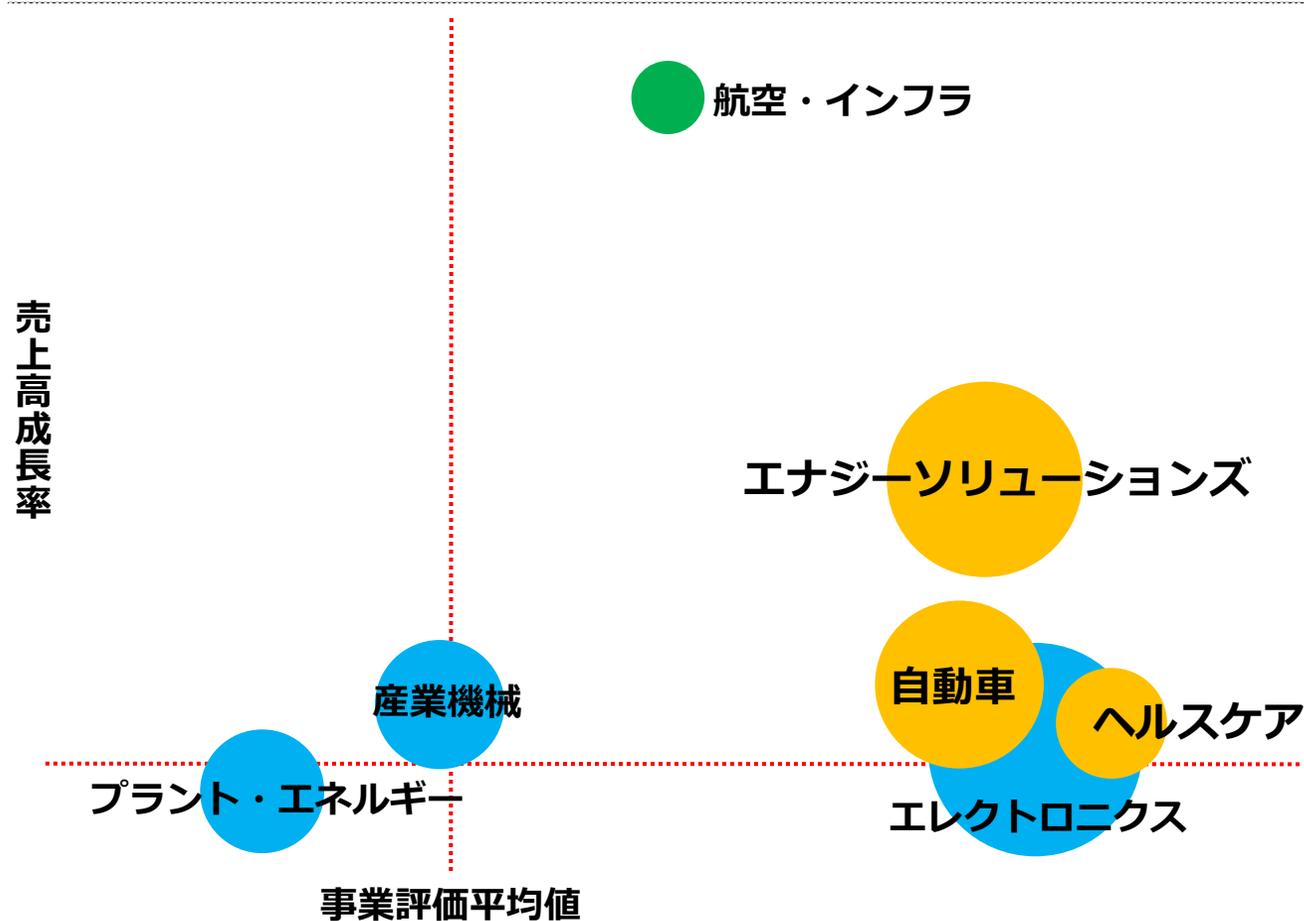
# ROEの現状分析と今後の取り組み

$$\begin{array}{|c|} \hline 10.9 \% \\ \hline \text{ROE} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline 4.0 \% \\ \hline \text{売上高} \\ \text{当期純利益率} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline 1.1 \text{ 回転} \\ \hline \text{総資産回転率} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline 2.5 \text{ 倍} \\ \hline \text{財務レバレッジ} \\ \hline \end{array}$$

	売上高 当期純利益率	総資産回転率	財務レバレッジ
現状分析	上向き基調にあるものの 一過性の収益に依存	総資産の増加により 回転率は低下傾向	財務健全性を維持
今後の取り組み	ポートフォリオを可視化し 経営資源の最適配分による 収益構造の改善	棚卸資産・ 政策保有株式等の圧縮	自己資本と有利子負債の 適切なバランスの維持

# 事業ポートフォリオ分析

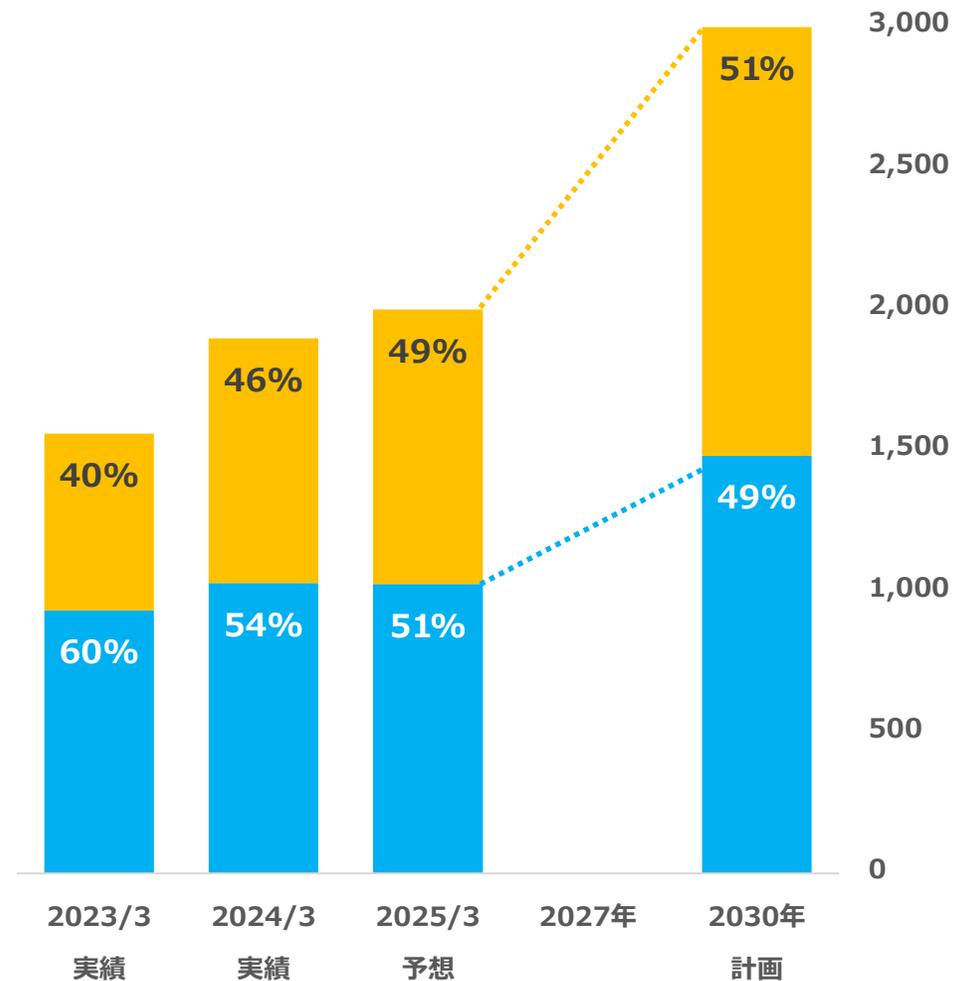
重点領域	エネルギーソリューションズ	自動車	ヘルスケア
基盤領域	プラント・エネルギー	産業機械	エレクトロニクス
成長期待	航空・インフラ		
重点エリア	米州	インド	



(収益性・安定性・成長性を踏まえた当社独自指標)

©DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

単位：億円



売上高と構成比